

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	70%	自校A B層の割合	70%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で、自分の考え（説明できるように）をノート等へ書き込む時間を必ず取り入れる。 全教科において主体的・対話的で深い学びとなるよう、単元計画の中で、探究的活動を設定する。 「問題」に対して「答え」、「めあて」に対して「まとめ」のように視覚で授業の流れが分かるように板書計画の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシック・ドリル診断シート定着率10%アップの70%を目指し、診断シートを年3回実施する。 週1回程度、漢字小テストと基礎計算小テストを実施する。 ノート指導の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> えどダブルルールを徹底し、ミライシードのドリルパークを全校で実施する。 江戸川っ子study week!を核とした家庭学習の促進を図る。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 当該学年の問題に限らず、習熟度に合わせた問題を出題する時間を設定し、児童が自信をもって答えられるようにする。 授業の中でユニバーサルデザインを取り入れ、授業の流れが分かるようにしたり、板書のどこをノートに取ったらよいかポイントが分かるようにしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト平均正答率80%以下の児童へのサポートを放課後補習教室指導員と連携して実施する。 ドリルパーク内のアダプティブドリルを活用し、習熟度に合わせた復習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ドリルパークのベーシックドリルに毎日取り組み、メダルやポイントを集めることを通して、主体的に学習に取り組む態度を高める。 ドリルパークの取り組み状況や達成状況を確認めたり振り返ったりする時間を設定し、苦手箇所を確認できるようにする。
成果指標	記述式の平均正答率 70%以上	東京ベーシック・ドリル 診断シート平均定着率 70%以上	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査の「授業時間以外の勉強時間」1時間以上と回答する児童の割合90%以上 年間読書目標 低学年100冊 中学年3000ページ 高学年6000ページ